

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告方法	日本経済新聞

特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしています。

 <https://www.alfresa.com/ir/>



「アルフレッサグループ
統合報告書 2022」

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社

株主のみなさまへ

2023年3月期 第2四半期報告書

(2022年4月～2022年9月)

証券コード 2784

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup

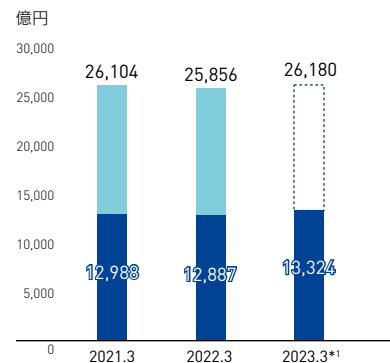


連結財務ハイライト

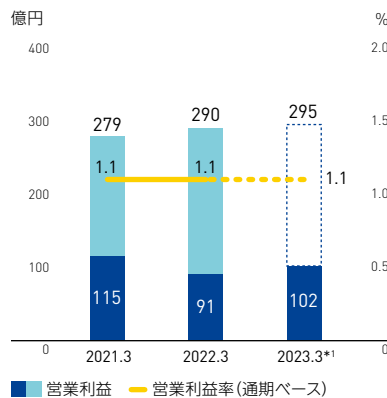
■ 第2四半期 ■ 通期

(注) 売上高、営業利益・営業利益率については、2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。なお、2021年3月期の実績につきましては、受取情報料等の表示方法を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

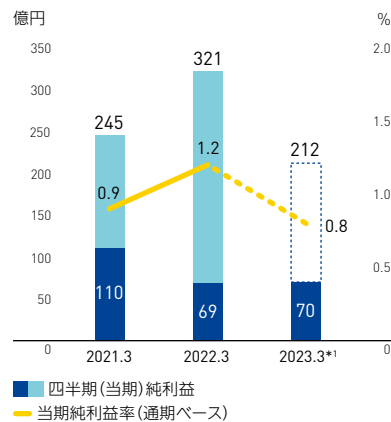
売上高



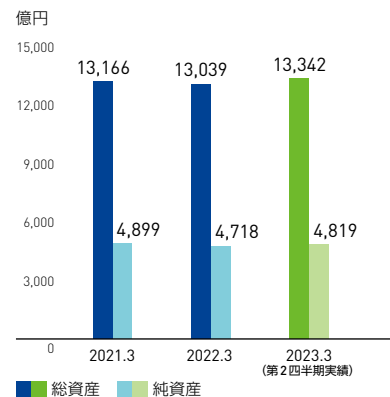
営業利益・営業利益率



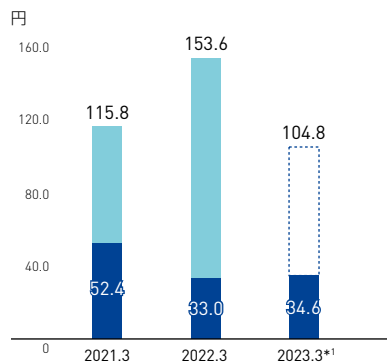
四半期(当期)純利益・当期純利益率*2



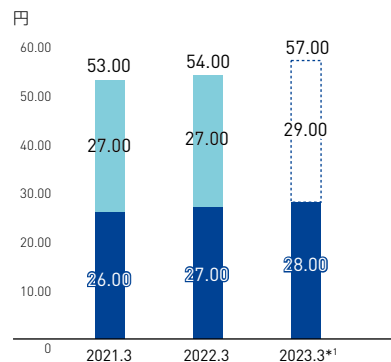
総資産・純資産



1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)



1株当たり配当金



*1 2023.3(通期)は予想値

*2 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(率)

配当について

配当につきましては、連結業績を基準に財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)2.4%以上を基本方針としております。この方針に基づき、2023年3月期は中間配当金を28円といたしました。また期末配当金は29円を予定しており、年間配当金は合計57円を予定しております。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

TOP MESSAGE



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化している中、アルフレッサグループは生命関連商品を取り扱う社会インフラとしての使命を果たすべく、感染再拡大防止の対策を行うとともに、お取引先様および当社グループ従業員の安全を確保しながら医薬品等の安定供給に努めております。

2023年3月期第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1兆3,324億19百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益102億27百万円(同12.2%増)、経常利益114億88百万円(同4.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益70億1百万円(同0.2%増)となりました。配当は、期初の予定通り中間配当金28円としました。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、医薬品の安定供給はもとより、新型コロナウイルスワクチンおよび治療薬の配送業務ならびに欠品や需給調整が続くジェネリック医薬品への対応に尽力しました。セルフメディケーション

卸売事業におきましては、既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進しております。新型コロナウイルス感染症予防関連商品の需要が落ち込んだものの、利益・コスト面の管理を徹底いたしました。医薬品等製造事業におきましては、2022年9月にアルフレッサ ファーマ(株)の子会社である青島耐絲克医材有限公司の分公司を中国上海市に開設し事業拡大を図る一方で、2023年4月にアルフレッサ ファーマ(株)とサンノーバ(株)の統合を目指しております。医療関連事業におきましては、連結子会社のアポクリート(株)による同社の非連結子会社からの事業譲受等に伴い増収となりました。

本年4月より、新たに「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」を策定し、グループ経営方針に掲げた「事業モデルの強化と新たな価値の創造」「グループ体となった取り組みによる地域の健康・医療への貢献」「環境保全への取り組み等を通じたサステナブル社会への貢献」「ダイバーシティを中心とした人財戦略の推進」「コンプライアンスの遵守を最重要とする企業風土の醸成」に取り組んでおります。診断や治療にとどまらず、未病や予防から介護や終末期医療に至るまで、すべての人々のライフジャーニーの各局面で必要とされる「健康・医療サービスの提供を行うこと」が当社グループのなりたい姿です。共に働く一人ひとりとともに、ヘルスケアコンソーシアム®のさらなる進化を実現してまいります。

今後とも、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

荒川隆昭

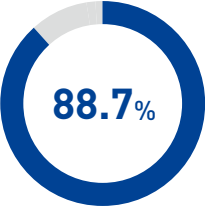
第2四半期の事業別業績

連結売上高 **1兆3,324億円** (前年同期比3.4%増)

連結営業利益 **102億円** (前年同期比12.2%増)

医療用医薬品等
卸売事業

売上高構成比率



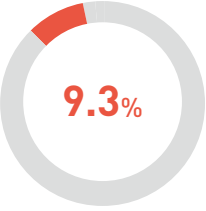
売上高
1兆1,820億円
(前年同期比4.3%増 ▲)

営業利益
79億円
(前年同期比13.7%増 ▲)

市場の伸長、独占禁止法違反による医療機関における入札指名停止からの回復および診断薬等の「メディカル品」の需要拡大の影響等により、売上高1兆1,820億円(前年同期は1兆1,333億円)、営業利益は79億円(同70億円)となりました。

セルフメディケーション
卸売事業

売上高構成比率



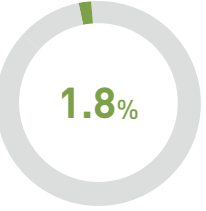
売上高
1,240億円
(前年同期比4.5%減 ▼)

営業利益
11億円
(前年同期比6.0%増 ▲)

新型コロナウイルス感染予防関連商品の需要の落ち込みや競合他社との競争激化による減収の一方で、利益・コスト面の管理を徹底したこと等により、売上高1,240億円、(前年同期は1,299億円)、営業利益11億円(同10億円)となりました。

医薬品等
製造事業

売上高構成比率



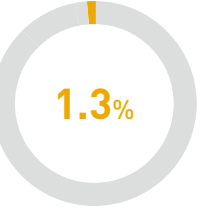
売上高
236億円
(前年同期比3.3%増 ▲)

営業利益
8億円
(前年同期比23.1%減 ▼)

製造販売権を承継した長期収載品の売上伸長および新型コロナウイルス抗原迅速検査キットの需要が拡大した一方で、受託製造における減収や減価償却費等の経費増加により、売上高236億円(前年同期は228億円)、営業利益8億円(同10億円)となりました。

医療
関連事業

売上高構成比率



売上高
178億円
(前年同期比6.4%増 ▲)

営業損失
0.1億円
(前年同期比は営業損失2億円)

薬価改定に伴う減収の一方で、連結子会社アポクリート(株)による同社子会社(非連結子会社)からの事業譲受に伴う増収等の影響により、売上高178億円(前年同期は167億円)、営業損失0.1億円(同営業損失2億円)となりました。

事業トピックス

アルフレッサ ホールディングス(株)が10月1日付で機構改革を行いました

1.「流通品質統括部」の新設

成長領域であるスペシャリティ事業への注力を進める中で、真のリーディングカンパニーとして選ばれるためには、プライスマネジメントだけでなく、GDP※1やPMS※2等の流通管理機能について、グループを挙げてより一層推進する必要があります。そこで、グループ全体のGDP対応およびPMS施策の統括機能をアルフレッサ ホールディングス(株)に設置することで取り組みを強化していきます。

※1 GDP (Good Distribution Practice): 輸送・保管過程における医薬品の品質を確保することを目的とした指針

※2 PMS (Post Marketing Surveillance): 医薬品や医療機器が販売された後に行われる品質、有効性および安全性の確保を図るための調査

2.「DX推進部」を「IT・DX推進部」へ改称

DX推進部は2021年4月の発足以来、DX推進機能のみならず「グループ全体のIT戦略の企画立案・実行に関する機能」や「グループ企業に対するITガバナンス機能」を担うまでに発展してきました。今回の改称により、その機能・役割を明確にし、さらなる取り組みの強化を図ります。

東北アルフレッサ(株)が仙台市に本社新設

本年11月、東北アルフレッサ(株)は、仙台市に本社を新設し、従来の郡山本社との二本社制に移行しました。東北地方最大の都市である仙台市に本社を新設することで、お客様への更なるサービス向上や、製薬企業をはじめとするお取引先様との連携をより一層強化していきます。

所在地 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町四丁目8番5
業務開始日 2022年11月21日



東北アルフレッサ(株)仙台本社 外観

青島耐絲克医材有限公司 上海分公司を開設

本年9月、アルフレッサ ファーマ(株)の子会社である青島耐絲克医材有限公司は、「青島耐絲克医材有限公司 上海分公司」を開設しました。上海分公司を新たな活動拠点として、中国における医療機器製品や診断薬関連製品などの取り扱い製品の拡充を実現し、同国での事業拡大を図ります。

商号 青島耐絲克医材有限公司上海分公司
所在地 中国上海市長宁区仙霞路319号
代表者 經理:根矢 寛之
設立年月日 2022年9月1日
事業の概要 医療機器製品、診断薬関連製品の調査・上市推進

攻めのDX

アルフレッサグループでは、医療に関わる方々に向けた様々なデジタルツールを提供しています。ドクター同士をつなぐ、ヘルスケアに携わる多職種の方々をつなぐ、希少疾病の患者様を医療機関につなぐ、薬局と患者様をつなぐ、といった「つなぐ」活動をデジタルツールにより実現することを目指しています。ヘルステック企業への出資も行い、医療機関の課題解決を図り、医療従事者の働き方改革や医療に関係する方々の満足度を向上していきます。

アルフレッサ(株)が(株)フロンティア・フィールドと資本業務提携

アルフレッサ(株)は、病院内のコミュニケーションを支援する医療機関専用のスマートフォンサービス「日病モバイル」を提供する(株)フロンティア・フィールドと資本業務提携をしました。「日病モバイル」には医療従事者に必要な様々な機能、たとえば写真の共有、チャット、ナースコール受信、緊急時一斉通報、および一部の電子カルテ連携などが搭載されています。そこにアルフレッサ(株)が提供するデジタルツール「Mydodes」も搭載できます。Mydodesは、製薬企業のMR*と医師とをつなぎ、医師は製薬企業からの情報を適時適切に入手できるツールです。医師の医療情報収集の効率化といった医療従事者の働き方改革を支援し、患者様の満足度を高めるなどの課題解決を行い、新たな事業領域での収益創出を目指しています。

※ MR (Medical Representative): 医薬品等の情報を医師や薬剤師に提供する製薬企業の担当者

守りのDX

デジタル技術活用による業務改革により、間接部門の最適化や効率化を実現していきます。解決すべき間接業務の課題を整理した上で、最適な業務プロセスを構築し、生産性を向上させます。グループ各社の共通業務は、グループ会社間での業務プロセスを統一し、効率性の向上を実現していきます。今後は、個々にデジタル化した業務をつなげて生産性を高めるとともに、部門間の業務データを統合してAI等の利活用でオペレーションの変革を目指していきます。

業務の効率化による働き方改革とCO₂排出量削減

アルフレッサグループでは、営業からバックオフィスまでグループの生産性向上と業務プロセスの統一を目的に、短期間で効果を得られる経費精算・請求書管理業務に着目し、クラウド型の経費精算システムを本年10月に本格稼働させました。法人カードや交通系ICカード等の外部サービスとの連携に加え、紙の領収書であってもOCR機能で経費利用データを取り込めるなど、入力作業を省力化できます。紙での回付が解消されて、承認行為等の業務効率化やペーパーレスによるCO₂排出量削減にも貢献します。クラウド型なのでリモートでも経費精算が可能になり、経理部門だけではなく営業部門や外勤者の働き方改革にもつながります。今後グループ全体に順次展開し、コア業務へ一層注力することで、企業価値のさらなる向上に努めていきます。

データインフォームド経営の実現

アルフレッサグループは、医薬品等の製造から卸売、調剤薬局での患者様へのお薬のお渡しに至る医薬品等の川上から川下までの幅広いサプライチェーンを有し、それぞれの業務遂行に付随した多くの情報(出荷・販売情報、製品情報など)を取得・保有しています。全国に広がる強固な流通体制、お客様・お取引先様との信頼関係に基づく広範な取引基盤に加えて、お客様満足度の高いサービスを提供するなど、より付加価値の高い企業活動を実現していきます。

取り組み課題

営業力向上		MS*、MRへの情報武装 〔「営業ダッシュボード」の開発〕
人財管理		グループ人財の可視化と 配置検討システムの構築
生産計画		各事業のデータを活用した 生産計画の最適化
廃棄削減		医療用医薬品卸6社 データ活用により廃棄品削減
グループ管理		連結予算、連結決算、 営業報告などのリアル管理
環境への対応		電力使用量をリアルタイムで集計し CO ₂ 排出量削減を実現

※ MS (Marketing Specialist): 医薬品の卸業における専門知識を持った営業員

「アルフレッサグループ人権方針」を制定しました

アルフレッサグループでは、人権の尊重はすべての人々が健康に暮らせる社会の基盤であるとの認識のもと、グループ理念体系、グループサステナビリティ基本方針に基づき、本年4月にアルフレッサグループ人権方針を定めました。私たちの事業活動において影響を受けるすべての人々の人権を尊重し、自らの事業活動において人権への負の影響が発生した場合には、是正に向けて適切に対処していきます。また、ビジネスパートナー等との取引関係を通じて、人権への負の影響を助長しないよう努めていきます。

「くるみん認定」を取得しました

ティーエスアルフレッサ(株)は、本年9月に「くるみん認定」*を受けました。

同社は、社員が仕事と子育てを両立し、働きやすい環境をつくることで、能力を十分に発揮できるようにするため、「所定外労働削減のための措置」「子育てしやすい勤務体制の拡充・導入」「有給休暇の取得促進」などの取り組みを進めました。

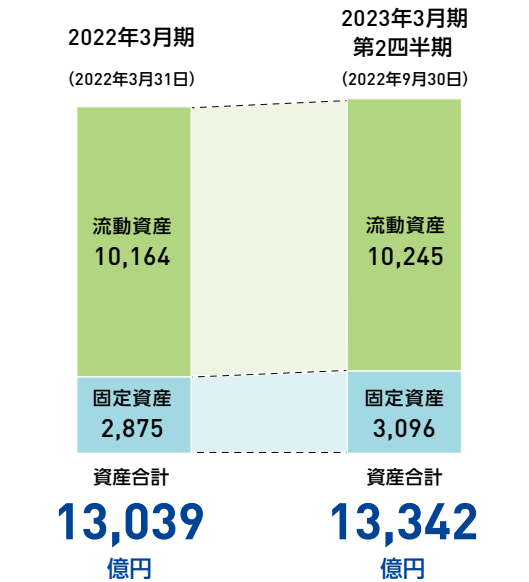
※ 「くるみん認定」: 厚生労働大臣が、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画に定めた目標の達成などの基準を満たした企業を「子育てサポート企業」として認定する制度



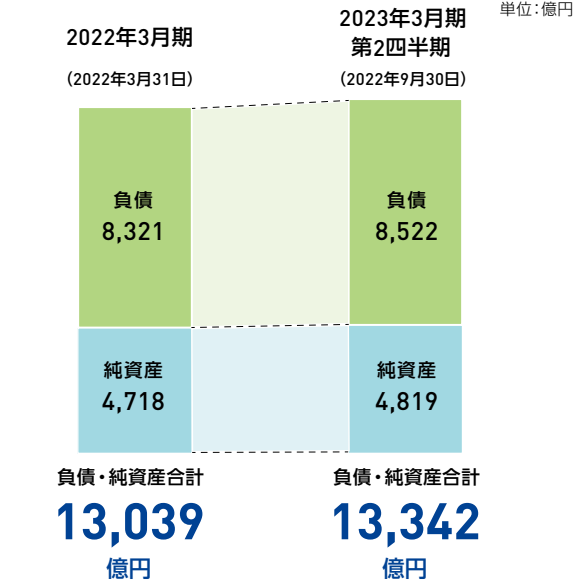
第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

(注) 前期より「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。

四半期連結貸借対照表



POINT	資産
資産は2022年3月期末と比較して、302億円の増加となりました。	
流動資産：+80億円	
現金・預金	△108億円
受取手形・売掛金	+189億円
商品・製品	△22億円
固定資産：+221億円	
有形固定資産	+90億円
投資有価証券	+128億円



POINT	負債・純資産
負債は2022年3月期末と比較して、201億円の増加となりました。	
流動負債：+205億円	
支払手形・買掛金	+272億円
固定負債：△4億円	
純資産は2022年3月期末と比較して、100億円の増加となり、自己資本比率は36.1%となりました。	
純資産：+100億円	
資本剰余金	△439億円
利益剰余金	+15億円
自己株式	+439億円
その他有価証券評価差額金	+86億円

四半期連結損益計算書および業績予想

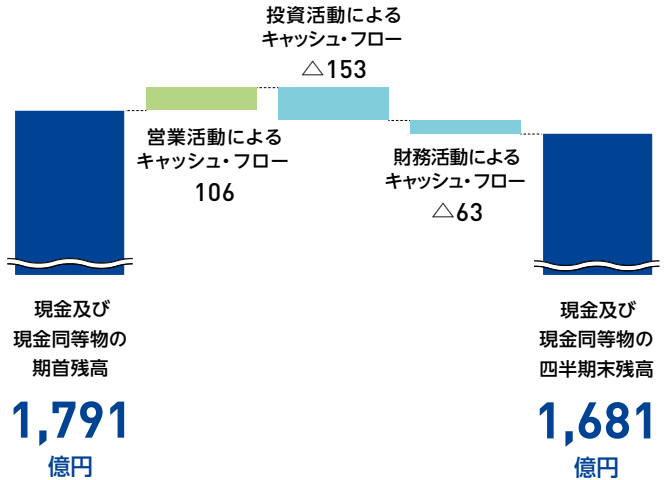
科目	2022年3月期 第2四半期 (2021年4月1日～9月30日)	2023年3月期 第2四半期 (2022年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想
売上高	1,288,706	1,332,419	43,712	2,618,000
売上総利益	87,336	91,039	3,703	191,700
営業利益	9,117	10,227	1,109	29,500
経常利益	10,956	11,488	532	32,800
四半期(当期)純利益*	6,988	7,001	13	21,200

* 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2023年3月期第2四半期（2022年4月1日～9月30日）

単位：億円



POINT キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、第2四半期累計期間において109億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー：106億円の収入

税金等調整前四半期純利益	+110億円
減価償却費	+63億円

投資活動によるキャッシュ・フロー：153億円の支出

有形固定資産の取得による支出	△127億円
投資有価証券の取得による支出	△16億円

財務活動によるキャッシュ・フロー：63億円の支出

配当金の支払額	△54億円
---------	-------



株式情報 (2022年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	202,840,000株
株主数	15,626名

大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,318	15.5
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,912	4.9
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,734	4.8
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,784	2.9
5	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	5,752	2.8
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,152	2.5
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,908	1.9
8	第一三共株式会社	3,202	1.6
9	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	2,604	1.3
10	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,412	1.2

IRメール配信サービスのご案内

IRニュースのメール配信サービスを開始しました。決算などの適時開示情報、株主総会情報、統合報告書や報告書「株主のみなさまへ」などのIR資料が当社ホームページに掲載された際、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしています。ぜひご利用ください。

<https://www.alfresa.com/ir/mail/>



会社概要 (2022年9月30日現在)

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	14,320名(連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉葉
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社

取締役および監査役	
代表取締役社長	荒川 隆治
取締役副社長	岸田 誠一
取締役副社長	福神 雄介
取締役常務執行役員	大橋 茂樹
取締役常務執行役員	田中 敏樹
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役(社外取締役)	原 大
取締役(社外取締役)	木下 学
取締役(社外取締役)	竹内 淑恵
取締役(社外取締役)	國政 貴美子
常勤監査役	尾崎 正和
常勤監査役	上田 裕治
監査役(社外監査役)	神垣 清水
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社
- サンノーバ株式会社

医療関連事業

- アポクリート株式会社

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社